

向野部落会 道路愛護表彰受賞

11月6日(金)、青森市内のホテルにおいて、道路愛護等功労者の表彰式が行われ、向野部落会(川上俊雄会長)が公益社団法人日本道路協会会長表彰を受賞しました。

この賞は、国及び県と青森県道路利用者会議が、毎年道路の愛護等の活動に努め、その功績が顕著な団体や個人を表彰するものです。

向野部落会は平成14年に青森県道路利用者会議会長表彰を、平成28年に青森県知事表彰を受賞しており、今回はさらに功績が認められたことによる受賞となります。主要地方道むつ尻屋崎線延長800mにおいて、定期的な草刈りやゴミ拾い、歩道除雪等を実施して、道路の美化に長年尽くされてきたことが認められ、今回の表彰となりました。

この表彰を受けて11月10日(火)、役場庁舎内にて越善靖夫村長へ報告しました。



表彰を報告した
川上会長(右)と越善村長(左)

役場内簡易郵便局に感謝状が授与されました



東谷経営管理部長(右)から表彰状を受け取る越善村長(左)

10月16日(金)、東通村役場内簡易郵便局受託30年表彰が行われ、日本郵便東北支社の東谷経営管理部長から受託者である越善靖夫村長に表彰状の授与が行われました。

この取り組みは日本郵便が簡易郵便局事務受託30年を達成した個人や法人を対象に行っているものです。

現在、村内には2箇所の簡易郵便局が存在し、そのうち役場内簡易郵便局は昭和63年の役場庁舎移転と同時に開局し、以来30年以上にわたって地域の皆様に郵便をはじめとした様々なサービスを提供し続けてきました。

今後も村民の皆様の利便性確保・向上のため引き続き簡易郵便局事務を行ってまいります。

子どもたちの環境・エネルギー教育のために教育副教材寄贈

10月19日(月)、東北電力(株)東通原子力発電所(青木宏昭所長)から、東通小・中学校を対象に環境・エネルギーに関する教育副教材が寄贈されました。

同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や、10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書や実験器具などの環境やエネルギーに関する多くの副教材を寄贈してまいります。44回目となった今回は、エネルギー・環境関係図書計41点を寄贈いただきました。

今回の図書を含め、これまで寄贈いただきました図書・教育副教材は、当村の次世代を担う子どもたちが環境やエネルギーについて学び、健全な心身をはぐくむために活用させていただきます。



原子力の日

1956年10月26日に、日本が国際連合の専門機関の一つである国際原子力機関へ参加したこと、また、1963年10月26日に、茨城県東海村の日本原子力研究所の動力試験炉が、日本で初めての原子力発電に成功したことから、1964年に「10月26日」を原子力の日とすることが閣議決定し、制定されました。